館だより

埼玉県立図書館

第 42 号

平成元年12月 1日

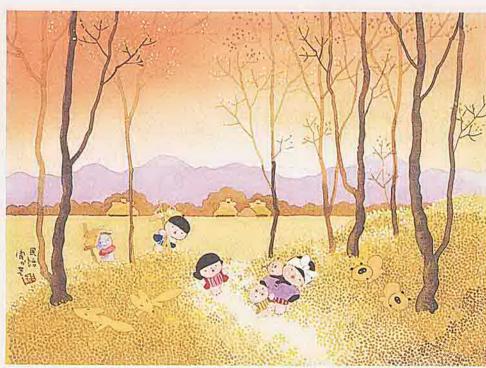
編集埼玉県立図書館 広報委員会

発行 埼玉県立浦和図書館 館長栗藤一衛 浦和市高砂3-1-22 電話 048(829)2821

埼玉の民話特集

(主な内容)

- むかしのおはなし (宮澤章二) ----- (1)
- 現代に生きつづける民話 (根津富夫) --- (2-3)
- ●随筆・埼玉と民話-----(4)
- ●本のひろば-----(5~6)
- 県内図書館めぐり、読書グループ紹介---(7)
- 埼玉のむかし話地図・現代の「語り部」 (8)



(画・池原昭治)

少年少女合唱曲の作詩も私の仕事の一つで、素材に伝説や民話を選ぶこともある。そんな作品のうち、組曲『山四章』中の『だいだらぼっちの春』は、とりわけ子供たちが好むようで、よく歌われている。

むかしのおはなし

や歴史などの面から話を捨ってみま どに分けることが出来ますが、地域 と記も、自然、歴史、信仰伝説な

入り込んでしまった五平の話(大滝) りをつけてくれたという「天狗のほりをつけてくれたという「天狗のほりをつけてくれたという「天狗のほりでき提灯」や「天狗ツブテ」「天狗

現代に生きつづける民話

び、いつくしみ、ハミごう
書話を聞いた年配者は多いと思います。そこには人としての悲しみや喜 は心の故郷なのです。ます。なつかしさがあります。 原点ともいうようなぬくもりがありび、いつくしみ、いきどおりなどの 民話

近年、民話の本も多く出版され、
近年、民話の本も多く出版され、
は耳で聞くものでした。「それで」「それから?」と相の手が入り、語り手
れから?」と相の手が入り、語り手 当の民話の味があったわけです。 し出していったのです。そこに、本 して而白くしてひとつの世界をかも 考えている人も多いからです。 には昔話と伝説の両方をくるめてい はない。 と話という言葉は一般的

埼玉の民話とは

たのは百十余年前です。それまではも仲々難かしい問題です。 埼玉県の境域が現在のようになっ 埼玉県の境域が現在のようになって

埼玉県立図書館だより 第42号



本県には、忍、川越、岩槻の三藩とその他の管地が置かれていました。 したがって、埼玉の民話を今の行政区の中で地域の特色としてとらえるのは無理があるようです。 夫

昔ばなしの中から

えるかによっても異ってきます。と

大滝村に伝わる赤しょうびんとい ようになってしまっ つも雨 親不幸をしての

しているもので、地域としての特色もで、昔話は、本来は全国的に分布すが、昔話は、本来は全国的に分布を設けるので、地域と としてとらえにくいのです。 は少ないのが普通です。埼玉の民話 ですから「埼玉の」ということで

日言を聞いたり、本を読んだりするおくことが大切です。

世ばなしは動物世話と本格世話などといわれる人間世話、そして笑い話に分けることが出来ます。 話に分けることが出来ます。 話に分けることが出来ます。

とぎすやかっこう、とびなどの鳴きものが多いようです。特に、ほともものが多いようです。特に、ほとそのひとつ動物昔話ですが、その 声に由来する話が目につきます。

どがかわきい われる鳥の話で、 こまったというフレーと

他の早らにはなぜ模様があるの 10

短かいのか、エビの腰 短かいのか、エビの腰 はなぜ曲ったなどの話。

く伝えられています。 婚姻にまつわる話が多 人間昔話では、 まず

蛇や猿に難題を持ち

に行くが、うまくだまして戻って来るというような「異類なとなって機を織るというような「異類な」や「異類な房」の話。 また、姉と実子が嫁入りを争うという「婚姻争」の話も多くありますが、県内では「継子の栗拾い」(名栗、飯能)「糠福米福」(川越)など栗、飯能)「糠福米福」(川越)など栗、飯能)「糠福米福」(川越)など来、飯能)「糠福米福」(川越)などれ)や「食わず女房」(秩父)などの化け物の話です。

各地に残さして、 のものが多く、その他法螺くらべや のものが多く、その他法螺くらべや 各地に残されてい 者の失敗談などショ 笑い 話も沢山あります。 ストーリー 特に愚か

伝説の中

は伝説といえます 県内の民話の大半を占めている

レフレ島の話。

天狗松など天狗が腰かけた木だと は現代にも通用し、事実伐ることを 忌む所もあります。天狗は今日でも 心の隅で生きているのです。 一変です。河童は一般に童子で、頭に 皿のようなものがあるおかっば頭の 姿で現われます。 の話を始め秩父や奥武蔵の田鎌倉街道の脇往還としての街道には馬と共に語られる重忠伝説があり、馬を可に語られる重忠伝説があり、馬を可をの他には岡部六弥太の忠度桜、特保氏の百八燈、そして藤谷次郎、木曽義仲まで多くの武者たち、さらには、東松田で大蛇を退治した田村底は、東松田で大蛇を退治した田村底は、東松田で大蛇を退治した田村底は、東松田で大蛇を退治した田村底は、東松田で大蛇を退治した田村のなぎの木の伝説などが各所に残ちれています。

語られる内容は愛嬌があります。 語られる内容は愛嬌があります。 語の中では善王として語られることが多いようです。赤い額、高い鼻、 白い髪、うちわを持った山伏のような服装で見た目には恐そうですが、

天狗にもらっ

たうちわで長者の娘

ど妖怪の話です。

子供たちが喜ぶの

は天狗や河童な

と奥武蔵です。

〈秩父・入間地方に多い天狗・河童〉

話などが現代に語りつがれています。
る数多くの城があり、それぞれに築
る数多くの城があり、それぞれに築 た道灌父子の川越城をほじめ、忍城、り自分の愛娘を人柱にたててしまって語りつがれた松山城や築城にあたところで、戦国時代、白米城とし 岩槻城、 深谷城など県内には名城が

〈寺にまつわる伝説〉

どが知られています。沢・川越)河童の逆さ桜

沢・川越)河童の逆き桜(児玉)な薬 (熊谷・大宮) 河童の伊勢詣り (所

岳宗教として栄えた所なので伝説も

権現、児食仁王で知られる慈光寺、た子の年、子の日、刻生まれの子の大であいながら天竜寺を開い

聖天様など興味つきなくありまつわる上尾の馬蹄寺、松の喜多院と見るの話を伝える高山 ありせんの嫌い で、思不動、思になった。

地蔵様です

す。 という悲しい話が語りつがれていま害に泣かされ、巡礼を人柱にたてた

的要素を含んでいます。 で考えていかなければならない今日 で考えていかなければならない今日 民話は私たちの祖先が語り伝えて

いうこと うことが出来ます。 その意味で、 現在でも生まれつつあると、民話は過去のもので

著者プロフィ



昭和13年群馬県月夜野町生 本、快山市立堀兼小学校教頭。日本民俗学 会会員、日本児童文芸家協会会員。 著書「埼玉の民話」「山里の詩・奥武蔵」 活書の民話」「山里の詩・奥武蔵」



重忠生誕にまつわる大流村の大陽寺忠の母は大蛇の化身であったという中でも多いのが畠山重忠です。重

県内広く語り継がれて れ、武蔵七党に属した氏族の伝説が埼玉県は武蔵武士発祥の地といわ います。

い寺社の古刹が多くあり、また、山埼玉には古代にまでさかのぼる古

根津富夫編 有峰豊

有峰書店 で、 流・ 能・川・77

北足立編

從

って解説を加えた名著。

埼玉県内の

伝説を網羅的に収集。

Ŀ

「浦・熊・川

埼玉と民話

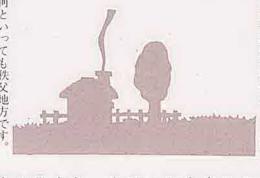
作家の松谷みよ子さんの「民話から二十年も前になるでしょう の講座に参加する機会を

連ねて話をする事が出来るようになった頃、今から二万年位前には、す でに話は語られていたと思う、とい われました。木の実を食べ、野山を 駆け回って獲物をとらえ、素焼の土 器を造った時代よりも、はるかに遠 い時代にすでに語られていた事を知 り、本当に驚きました。 民話の歴史は古く、 人間 が単語を

「むかし話」といっていたのが一般 にすでにあったとはいわれますが、 にすでにあったとはいわれますが、 「岡山の桃太郎」「長野の桃太郎」で「舌切雀」は石川県の話が良いとか 方には「ころげたむすび」という越地方に伝わる「かさ地蔵」秩父 があります。これは全国各地で語 れている有名なもので、 少し内容

埼玉県立図書館だより 第42号

に、竜宮や乙姫の話が出てきます。 に、竜宮や乙姫の話が出てきます。 います。都市開発が進み、遺跡の発 掘が盛んな今、長野から鯨の骨がま るごと出土しています。埼玉でも沢 山の貝塚が発見されているのをみる 時、太古の時代は海であった事を、 昔の人たちも知っていたのではない かと想像してしまいます。 、 竜宮や乙姫の話が出てきます。 海のない埼玉県の、秩父や大里郡 のない埼玉県の、秩父や大里郡 容を区別す かし話や伝説が多く残っ



まを目の前にして、それにうち勝つとい山の地方では、鳥やけもの達としい山の地方では、鳥やけもの達ととは違い、気候風土の厳

語は、当時の人にとって、寂しく悲巨人を使って大きな山をひとまたぎ とたたえさせたりの中には、つらさ とたたえさせたりの中には、つらさ えさせて来たのでしょう。 キに人間の言葉ではなしをさせる物場させたのでしょう。キツネやタヌ願いを込めて竜・天狗・鬼・蛇を登

すこし昔の話に、浦和の「三本足のキツネ」があります。明治十七年の鉄道開通の犠牲になって、汽車にひかれ三本足になったキツネの話です。関西にも鉄道開通の祝いの日にた勢の人間たちの身代りなって死んだタヌキの「ごろはちだいみょうじ 年八月十四日の晩、大空襲にあって を追いつめていたのでしょうか。 太平洋戦争の終戦前日、昭和二十 太平洋戦争の終戦前日、昭和二十

地名、橋、神社、寺などの由来や、地名、橋、神社、寺などの由来や、が残っています。けれどもそれは、が残っています。けれどもそれは、が残っています。けれどもそれは、が残っています。けれどもそれは、多いのでは、 大きな被害のありさまを伝える「星

ています。悪事をはこう「黒浜の盗賊」という話が伝えられい松山などが今も尚残っていますが隣の連田市には、多少起伏の大き 信仰についてなどの、 W

れが

4.1

伝

えにと



心して自害する話です。の手に討たれた娘がいての手に討たれた娘がいて 手に討たれた娘がいて、自ら旅人と 自ら旅人となって父 父親も改

埼玉県の東部は平地・西部は山地 ですが気候風土の違いによって、屋 ですが気候風土の違いによって、屋 の内容に大きな差が生まれていると 年月を経過する間に、語られる話すが気候風土の違いによって、長埼玉県の東部は平地・西部は山地 いるよ

子どもと本を読むあゆみ会な気カします

「埼玉の民話」 部編 77 (浦・熊・川・久) 部編 77 (浦・熊・川・久) に自分の住む山の方が高いと自慢くらべをする愉快なお話、「山の背くらべ」など、埼玉の各地に伝わる民話や伝説を平易に紹介。 や伝説を平易に紹介。 さやま市民文庫刊行会 84

本で一番強い男、 浦・ 鬼面山タニゴ 旗 川・久

ちぶので

えだんぼう

権頭和夫、

絵・横田ス

79 文

(浦・熊・久)

河童地蔵 大活字ふるさとの昔ばなロウの出世ばなしなど8編。 しシリーズ6 東松山市立図書館 (浦・熊・ 11

ど秩父の昔話7話。

る雄大なお話、「でえだんぼう」 山より大きなでえだんぼうの活躍

な

埼玉県伝説集成

北辰図書出版

韭塚一三郎編著 分類と解説

を、比企地方に伝わる昔話8話を大 る不思議なお話、「夜荒しの名馬」な る不思議なお話、「夜荒しの名馬」な 秩父の民話と伝説 活字で紹介。

(浦・川 ř 能 有峰書 数九

素朴な山国の生活の中 た心温まるお話、面白い 収録。 児玉郡・本庄市のむかー 児玉郡・本庄市郷土民 会 86 口い伝説を多い中から生まし

のむかしばなし

その昔、 武蔵七党が活躍した児玉 河が・熊・川・ 么

空気と透明な光に満ちたすばら

自然に恵まれている。 語り書き・埼玉のむかしばなしれた昔話の数々。 れた昔話の数々。

さきた

ど県内各地のむかしばなしを子供 お姫様をなぐさめる「見沼の蛍」な お姫様をなぐさめる「見沼の蛍」な "現代の語りべ』である著者は、ま出版会 88 〔浦・熊・川・久〕



埼玉県の民話 日本児童文学者協会編 偕成社 80(県別ふるさとの民話 17) 〔浦・熊・川・久〕 それぞれの土地で育まれてきた民話が、土の香りを残したまま語られている。明治以降に生まれた現代民話も収録。

「星川のちょうちん」などの現代民話や昔から語りつがれている伝説等 33編。 カなのむかしむかし ぶん・山口槌 男 え・大久保和生 みなのむかしむかしむかしがしている伝説等

脚り継が

L

える。「門松を質入れした話」ほか16 で、円松を質入れした話」はか16 となく、年を越せていたしょう助さんは名案を考しむかし刊行会 71 (浦・熊)

川越の伝説 さし絵・文・池原昭治 川越市教育委員会編 '81

歴史と文化のまち川越は、古くは、大大学の発祥地ともいわれている。からべ歌。とおりがんせいの発祥地ともいわれている。一方野神社にまつわる「初雁の杉」のお話など60編。 「浦・熊・ 川·久

だけ忠実に採録した埼玉県内の昔話だけ忠実に採録した埼玉県内の昔話をできる出版協会 79 (浦・川・久) 日本の昔話28 二監修 池上真理子編 武蔵の昔話 日本放送

関東もののふの詩 版3 小学館編 31 84 〔浦・久がふるさとを訪り ふるさと伝説

大活字本「ふ

るさとの

ばなし」刊行閑話

プロは勿論、印削かっ支下、 表紙こそ業者に依頼しますが、ワー を別に作業の手順を紹介します。 で、改めて御礼を申し上げます。

東松

山市立

図書館

そして

よっては、書き下しの作変お世話になりました。

原野を焼く火―野火止伝説」(埼玉県) 原野を焼く火―野火止伝説のふるさとが写真や地図をふんだんに挿入してが写真や地図をふんだんに挿入して ちちぶ長者 吉本 宗・絵 埼玉 幹書房 「浦・熊・ '88 川·久

武蔵野 んぼ大 梅街道、 る民話や伝説を紹介。 **金持ちだが、いばりんぼでけち** の民話と伝説 蜂醬 川越街道などの沿道に 店 浦

変化、 浦

3 細者 玉の伝説とむか 光文書院 県郷 郷し 出話

武蔵むかし話 東京新聞浦める「黒浜の盗賊」ほか。 娘が我が身を犠牲にして父親をい娘の菊路は心を痛める。心の優し 菊路は心を痛める。心の優しい賊鬼藤内の悪事を知り、ひとり 東京新聞浦和支局 3

埼玉県立図書館だより 第42号

の民話絵本 市川栄一 2 文 示

原田重久 川・久

J. (Z)

、それぞれの説話に解説を加え変化、自然編の四編に分類。さ玉の民間説話を歴史、信仰、妖 能 一の民話研究会 .



1 編 88 (浦・熊・川・久) 東松山市内に残るたくさんの伝説 東松山市内に残るたくさんの伝説 んで版画で読む伝説集。挿入されている版画は同市内の小中学校の児童生徒によるもの。

一應課編 '83:

など草加に伝わる昔話を切り絵で紹ったお坊さんは……。「長泉寺の狸」 ったお坊さんは……。「長泉寺の狸」 浦 熊 111 久

東 京新聞出版局

れるものが集められている。 から、新年、春夏秋冬の季節 ·熊·川



お百姓さんにいたずらのし放題。困て、一緒に暮らすようになったが、長泉寺の狸は、お坊さんになつい

浦

・埼玉に伝わるお話の中 一么

児玉の民話と伝説 民話研究会 母 児玉町民話研究会編 84 久

埼玉夜話 まつやま書房 80 「塙保己一の巾着」など50話。 かい I 病床の中で縫い 大成したお話、 あげ

事件とテーマ別に収録。 事件とテーマ別に収録。 笑・知・力、人と動物 神・心を中心にまとめられている。」起った事件など、身近かに起き起った事件など、身近かに起き

「けっしてふたをあけなさるな。」 ある日、馬方の平吉は世にも美しい 娘に玉手箱をさしだされた。「見沼弁 天」などの"埼玉伝説十三選"、"埼 玉伝説散歩"を収録。 ・ 根津 富夫編 未来社 76

のをもらうと、 め 能 么

上卷 田島三郎 児玉町

た巾

口のない女がやって来た。「食わず女人ではならないからと、よめをもらよれないないところへ、ある日、おめをもらくてはならないからと、よめをもら

領域・ 能·川· 么

と動物 神・霊・怨、られている。女、母、母、母近かに起きた話でなく、大正時代に 早船

【浦・熊・川・久】

多房 狭山 数 など恐 īlī

狭山の絵本 課絵と 再 池原昭

Un

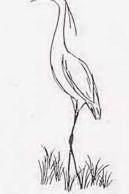
お話、

而白いお話など

誘う池原昭治氏の絵が、遠い昔のメースの世界と言いれている世界の話のとした哀欲と郷愁を が、はのぼのとした哀欲と郷愁を が、はのばのとした哀欲と郷愁を 企画 治

埼玉のむかし話 究会編 日本標準 埼玉県国語教育研 73

お話「悪竜退治」 ぎと、足 '73 文 ろい 伝わる、今から百年ぐ る、今から百年ぐらい前のお話。てるまで続く深い愛情。幸手に、それを親切に介抱した娘との、 どうわ絵本 さぎしろいわた いためて飛べなく いぐちぶんしゅう絵 た竜を退治する勇し 田村麻呂が岩殿山 ほか 37 (浦・ 能 まきこう なっ 細 漏 川 た白さ 偕成社 . しい中に 么





書グル

あちこちに出かけて、地元に残る民 と余裕が出来たら、東北地方や近県 などの民話の里を訪ねたり、市内の などの民話の里を訪ねたり、市内の

25 also also also also also also 22

民話 0

111 市

ある」とありました。 と希望と知恵とそして笑いの結晶で語りつがれてきた私たちの祖先の夢語りつがれてきた私たちの祖先の夢 読書会で読んだ本の中に

自分たちの住む街にも、かつては 圏炉裏ばたがあり、そこにおじいち べんやおばあちゃんが座っていて、 そどもたちに、おとかの話しなどを していたにちがいありません。 市の広報で、民話や昔ばなしにつ いて話し合うグループ(日本の各地 の民話や昔ばなしの本を読みあった か か)とよびかけて出来た読書会でりして心のふる里を訪ねてみませ世界の民話や昔ばなしと比較し

行する予定です。 行する予定です。 行する予定です。 で、ここで一時休

本に

忙しくなりますので、ここで新館の完成を間近かにして、

十号という一

つの節

H

を迎え、

又

何かと

に至りました。 後順調に号を重 で発生した。

月、早くも第十号の刊行を見る。この発案によって始められ、その

河鹽地蔵

T. W.

TE M

昭和六十二年

十二月十五日でした。

の第一号

一号が刊行されたのは、

の事業は、

読書週間を契機に、

グループの中には、東北の 現在会員は勤務関係でなか ます 方や

刊することや、 ところです 話などを発掘 何年か後には、 た 14 2 考えて WY 3

子ども達に見てい 大型紙芝居をつくり、 その話をもとにして います。 図書館に来る 喜んでも

大活字本の体裁を整えていましたが、第五巻(民俗編)から作品を選び、 ご登場いただき、内容の充実を図っ伝わる「ふるさとの昔ばなし」にも途中で方針を変え、比企郡内町村に 比企管内の図書館には、 しの作品を特別に ことに館に 大 で、ご一読願えれば幸です。 県内各館にお届けしてあり とにかく頼もしい存 もある、とにかく頼もしい存 電 住 所

大挙応援に駆けつけてくれます。こ 大挙応援に駆けつけてくれます。 まに、大活字本が出来上ります。 というないではないで、作 があるがあります。 製本の段階で 本の段階では、全 ○四九三-二二-○三二四東松山市籠弓町--十-十 各館にお届けしてありますの、とにかく頼もしい存在です。 という、 全てが手作業です 図書館で育った 強い味方 から グ 揃

かなか

県立浦和(048)829-2821 県立熊谷(0485)23-6291 県立川越(0492)44-5602 県立久喜(0480)21-2659



の『夕鶴』で初舞台を踏んで以来この『夕鶴』で初舞台を踏んで以来この道40年。夕鶴だけでも75回を数えるベテランの俳優である。「日本民話の会」に所属し、舞台活動のかたわら埼玉県のほか全国各地の民話を採 書「語り書き埼玉のむかしばなし」の夕焼け民話」などの口演活動は高の夕焼け民話」などの口演活動は高い評価を得ている。浦和市在住。著 (さきたま出

島武彦文化賞受賞

現代 0 語 1) 部

小沢重雄氏は昭和23年に山小沢重雄氏は昭和23年に山

見まぐるしいほどの、時の流れ。
くへ流されないかと心配になります。
くへ流されないかと心配になります。
心のふるさとともいわれる民話は、そんな大切なものの一つでありましょう。
を預は、県詩話界を代表する詩人の宮沢さんの経過につまでも心に残しておきたいなんの絵。いつまでも心に残しておきたいさんの絵。いつまでも心に残しておきたい、場玉の風情です。
県内の民話研究家の根津さんは、自らの足でまとめられた埼玉の豊かで魅力のある足でまとめられた埼玉の豊かで魅力のある足でまとめられた埼玉の豊かで魅力のある民話の数々を体系的に紹介。また、郷土の大切な遺産を新しい時代に伝えようと、県内の民話が最も似合う時節です。
かで豊かな夢を、語ってあげて下さい。

沼田曜一氏は 現在はフリー。 現在はフリー。 など多くの、 上も前 など多くの主演作品がある。20年以上も前に全国行脚の旅で民話と出会い、自ら採集した民話を舞台で年に一回発表する「沼田曜一手づくり民話劇場」は若い世代にも静かなブームを呼んでいる。所沢市在住。著書組れて、あたたかい民話の世界に耳離れて、あたたかい民話の世界に耳がれてみてはいかがだろう。 人社、新東宝を経ていれています。 んだつみの